

図書館だより

開館時間（共通）9：00～17：30
 中央図書館 ☎ 0558-76-5566
 葦山図書館 ☎ 055-949-8605
 URL <http://www.izunokuni.library-town.com/>



今月のおすすめ

一般
【中央】



居酒屋「一服亭」の四季
東川篤哉／著
講談社

鎌倉の路地裏でひっそりと営まれる居酒屋「一服亭」。極度の人見知りの女将・安楽椅子（あんらくよりこ）は、とんでもない名探偵だった。本格ユーモアミステリー。

一般
【葦山】



倒産続きの彼女
新川帆立／著
宝島社

弁護士・美馬玉子は、ちょっと苦手な先輩・剣持麗子と組んで、ある女性の身辺調査を開始。「会社を倒産に導く女」と内部通報された女性を調べ中、予想外の事件が。

一般
【中央】



日本の名句・名歌を讀みかえす
高橋順子／著
いそつぶ社

「菜の花や月は東に日は西に」「やわ肌の熱き血潮にふれもみで…」など、名句・名歌67作品を解説。日本各地で撮影された美しい写真とのハーモニーを楽しめる。

児童
【葦山】



お寺の掲示板 諸法無我
江田智昭／著
新潮社

「その通り！」思わず人生を考えてしまう至極の言葉のオンパレード！お寺の門前に置かれた掲示板に張りだされた言葉を味わう「輝け！お寺の掲示板大賞」投稿作品集。

新着本コーナーから

- 一般 ベッパーズ・ゴースト 伊坂幸太郎／著 【葦山】
- 一般 子供は怖い夢を見る 宇佐美まこと／著 【中央】
- 一般 輝山 澤田瞳子／著 【葦山】
- 一般 二十一時の渋谷で ―キネマトグラフィカ― 古内一絵／著 【中央】
- 一般 朝と夕の犯罪 降田天／著 【葦山】
- 一般 地図でスッと頭に入る平安時代 繁田信一／著 【葦山】

12月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8

○中央休館日 □葦山休館日
◇両館休館日 ☆おはなし会

12月のおはなし会

中央図書館 11日（土）11：00～
 葦山図書館 11日（土）14：00～
 25日（土）14：00～
 ※事前申し込み不要

くぬぎ会館こども広場
 16日（木）10：10～
 ※予約制 ☎ 0558-76-1346

お知らせ

2022年大河ドラマ関連本を展示しています

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の関連本を展示しています。

13人の合議制を構成した御家人たちに関する本のほか、源頼朝、北条政子、北条氏、源氏三代、鎌倉幕府などについての歴史書、伝記、小説を一カ所に集めて展示しています。

各館とも2022年12月末まで展示予定です。ドラマがより面白くなるよう、本で知識を深めてみませんか。

文化財通信

その198

伊豆の国市からはじまる北条義時の足跡 第12回 北条義時をめぐる人々と伊豆の国市 【八重姫の悲話】

文化財課 ☎ 055-948-1428



八重姫御堂

八重姫という女性をご存知でしょうか。義時と同時代に生きた女性で、来年の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」では、「義時の初恋の人」と紹介され、人気女優の新垣結衣さんが演じることが発表されています。八重姫は、伊東市に本拠をおく伊東祐親の三女（※1）で、祐親が大番役（※2）で京都へ行って不在の時、流人として伊豆で暮らしていた源頼朝と結ばれ、二人の間には千鶴丸という男子が生まれました。しかし、京都から帰った祐親は、当時権勢を誇っていた平氏を恐れ、二人を引裂き、千鶴丸を川に沈め殺してしまいました。その後、頼朝は北

条時政の娘政子と結婚し、北条の地で暮らすようになりました。それを知った八重姫は、悲嘆のあまり「真珠ヶ淵」（狩野川もしくは古川か）に身を投げて亡くなりました。以上は、葦山地区中條の眞珠院や地元で伝わる八重姫の悲しい伝説です。眞珠院には八重姫を供養する「八重姫御堂（静堂）」があり、「梯子があれば八重姫を助けられた」と、梯子を奉納する慣習が続いています。八重姫の墓または、供養の堂は、以前は北側の満願寺（廃寺）にあり、江戸時代後期に眞珠院に移されたとも言われています。また、八重姫の侍女たちが、伊東へ帰る途中で自害したと伝えられる場所が大仁地区田中山にあります。昭和49年に、地元の人によって「女塚」の碑が建てられました。



女塚の碑

一方で、鎌倉時代後半以降に成立した『曾我物語』や『源平盛衰記』などの文学作品には、祐親が失意の八重姫を「江間次郎（※3）」に嫁がせたと書かれています。江間は北条家の館と狩野川を挟んで目と鼻の先ですから、これもまたむごい仕打ちと言えるでしょう。いずれにしても、伝説や文学作品に記された物語なので、史実であるかを確かめることはできません。武士の世のはじまりである鎌倉時代には、合戦や政治的な争いが続き、その影で、八重姫のように悲しい人生をおくった女性も少なくなかったでしょう。大河ドラマではどのような女性として描かれるのでしょうか。

- ※1 四女という説もある。
- ※2 地方の武士が内裏や院御所の警固を行う職務。
- ※3 小次郎と書く本もある。また、江間次郎を江間小四郎義時とする説もある。